

代表質問

鳥取県議会自由民主党



鳥羽 喜一 議員
選挙区 倉吉市



参議院議員選挙を経て

問 石破総理の掲げてこられた地方創生の歩みが止まることを懸念している。今後、自民党と日本の政治の重要な転換点を迎える中で、国政の動向を知事はどのように考えられるか。

答 石破政権は内外の厳しい情勢の中で少数与党として、野党との人脈を活かして予算を成立していった。日本は自民党が長く一党で過半数を得る時代が続いたが、これは世界的には異常なこと。地方議会では既に行われているが、与党や野党という枠を超えて、国民のための政治、もう一皮むけた日本の民主主義に期待したい。

多文化共生社会の推進

問 世界で排外的な政治勢力が台

頭する中、日本でも外国人受け入れを否定する政党が勢力を伸ばしたが、人手不足や経済活性化の観点から、国際的な人・モノ・カネの往来は不可欠であり、相互理解と信頼こそ平和と発展の基盤である。本県でも多文化共生を大切にしていくなが必要があると考えます。

答 歴史的に国際協調と交流が各国の発展を支えてきた以上、この流れは止められない。今こそ、国と地方が多文化共生と国際協調の重要性を再確認し、幸せに暮らせる社会の在り方を根本から議論すべき。

最低賃金への対応

問 最低賃金の引上げは生活支援としては重要で、特に非正規や若年層、子育て世帯に歓迎される一方、地方の中小企業には価格転嫁が難しく経営への打撃が懸念される。雇用機会の減少や廃業リスクもあるため県として影響を丁寧に見極め、価格転嫁や生産性向上等の支援策を講じていくべきでは。

答 関係者と連携し適正な取引価格の確保などを通じて中小企業で

も賃上げしやすい環境を整え、企業と労働者が協力して賃上げを進められるよう取り組みを強化する。

伝統工芸品の保存推進

問 伝統工芸や文化は地域固有の強みであり、日本・鳥取県が誇る資源として次世代へ継承すべきものである。県としてもその価値を発信し、後継者育成など技と心を未来へつなぐ支援を強化すべき。

答 近年、民芸をはじめとする工芸が再評価されている。県としても販路開拓を進めており、国内外に視野を広げる好機が万博を通じて生まれた。今後はさらに販路拡大を支援し、後押ししたい。

体育館のエアコン設置

問 東京都では学校体育館の空調整備がほぼ100%まで進む一方、地方では財政難から厳しい暑さの中で活動せざるを得ない状況がある。高校生議会でも議題に挙がったが、熱中症リスクや避難所機能の観点から、体育館へのエアコン設置を検討するべきでは。

答 (教育長) 猛暑や避難所対策の観点から体育館への空調整備は必要であり、来年度当初予算に向け外部委託による整備計画を検討、再来年以降に県立高校でモデ

ル的に導入を検討する。この動きを各市町村へ波及させ、安全を守る拠点整備を進めたい。

高校の魅力化

問 魅力ある学校づくりには教育委員会の支援だけでなく、学校長を中心とした主体的かつ中長期的な経営視点が必要である。公募制を導入し、任期の明確化や民間人材の登用による新たな学校経営など、先進的な取組の導入を検討すべきでは。

答 (教育長) 学校長は経営者的な存在であり、中長期的視点は重要。現時点で公募制の導入は考えていないが、校長に必要な力の育成を重視し、民間の視点も取り入れ、リーダー人材の育成を進める。

「おひつこやま」問題

問 2065年には高齢者が人口の約4割、単身高齢者が5世帯に1世帯となる見通しで、特に身寄りのない未婚高齢者の増加が課題となる。住まいの確保や生活・医療支援などへの対応が急務であり、県として単身高齢者支援にどう取り組むのか。

答 官民連携のプラットフォームを活用し、県庁内の関係部局が連携しながら市町村も含めて検討する。

代表質問

鳥取県議会民主とっとり



尾崎 重明
選挙区
鳥取市
議員



多極化する世界と鳥取県

問 米国の弱体化、中露北朝鮮の連携やグローバルサウスの台頭など世界が多極化する中、日本海の玄関口である県はどう向き合おうか。

答 平和国家を国是とする日本がどうするか戦略が必要。県は日中韓と信頼関係を醸成、人と人、地域と地域を結び役割を展開する。

国連を鳥取へ！

問 財政難の国連が再編・コスト削減のため、一部アフリカ移転を検討している。ならば、災害も少なく自然に恵まれ、生活コストが安い鳥取に来てはと思う。鳥取のグローバル戦略としても、また、国連の持続可能性、平和、環境という理念にも合致する。

影響を与えるべきでない。選挙に絡めず丁寧な議論を望む。事業報告透明化は検討する。

SNSと部落差別

問 悪質な差別的SNS拡散防止の仕組みづくりや差別を許さない強力な人権啓発が必要。

答 ネット問題は国も本腰を入れようとしている。県では実効性担保のため行政罰など人権尊重の社会づくり条例の改正を検討中。リテラシー向上にも力を入れる。

賃上げとその対策

問 最低賃金が1030円になったことは若い世代が希望をもてる。しかし、中小零細企業の負担軽減策はあるか。

答 効率化・環境整備の助成があり、利用してほしい。価格転嫁に向け業界団体と行動し、推進する。

南北線(※)について

問 南北線の建設が進むのは歓迎だが以前から出ている地元の懸念にも向き合って進めてほしい。

答 単に説明して説得するのではなく解決策があるか考えていく。

看護師へのハラスメント

問 看護師へのハラスメントが顕著で継続的支援が必要。高齢者・

障がい者施設にも対象を広げてはどうか。

答 相談窓口・防犯カメラ等の補助は手応えあり。実績を見てやっていく。高齢者施設等にも広げる。

若者ニーズを反映した高校

問 越境授業、学校間連携をしてはどうか。約千人の中高生等にアンケートした。高校を選ぶ目的はまず進学、そして部活やイベント。学びたい学科では、投資経済、ダンス、ゲーム制作などが人気。学べる機会を創出しアピールをしてはどうか。また知事には、物心両面での支援を求める。

答 (教育長) 他校とのオンライン授業、学校間連携もしているがアピール不足。生徒の目に留まるよう改革、高校づくりをする。

答 様々な声を入れた夢に叶う改革をすれば惜しみなく支援する。

女性警官登用と男性育休

問 鳥取県警の女性警察官の採用・管理職への登用の展望は。男性の育休取得日数を増やすべき。

答 (警察本部長) 女性警官比率を令和12年度までに14%に上方修正し、能力・業績に基づき登用し、昇任意欲の向上を支援する。男性育休は2週間以上取得85%を目標とする。

(※) 南北線…山陰近畿自動車道の鳥取～覚寺間の通称。